

救急医療の適正な受診のために



～今、救急医療現場では～

今、「日中、仕事で行けないから」、「夜でもやっているから」などの理由で、軽症であっても、安易に休日や夜間に平日の診療時間内受診と同じ感覚で、救急医療機関を利用する現象が問題になっています。

例えば、盛岡地区における平成20年の二次救急病院の受診状況では、入院を要しない患者の比率は88%、入院患者の比率は12%という結果がでています。（「盛岡地区救急医療体制のあゆみ2009『盛岡地区二次救急患者動態』」より）

このため、本来の役割である重症患者の迅速な対応に影響がでる恐れがでてきています。



岩手医科大学附属病院岩手県高度救命救急センター
遠藤 重厚 センター長



市民、県民からすれば自らが急病患者として医療機関を受診する際に、設備の整った大規模病院を志向することは当然であります。現状では、必要以上に大規模病院に患者が集中しております。

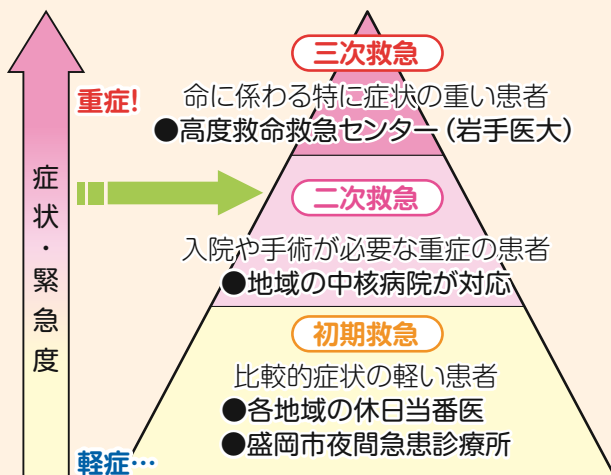
住民の多様な医療ニーズに効率よく対応するには、その病状に応じて適切な医療機関を受診することも必要となります。

盛岡医療圏においては、初期・二次・三次救急医療体制が整っており、これを有効に利用して頂きたいと思えます。

限りある医療資源をいかに皆で共有し、有効に利用するかが今後の救急医療に求められております。

～盛岡地区の救急医療体制～

救急医療は、症状の軽い順から初期救急、二次救急、三次救急と三つの体制に区分されています。



二次救急医療機関

【二次救急入院受入病院】

- 県立中央病院
- 盛岡市立病院
- 岩手医科大学附属病院
- 盛岡赤十字病院
- 遠山病院
- 栃内病院
- 高松病院
- 盛岡友愛病院
- 川久保病院
- 盛岡繋温泉病院
- 国立病院機構盛岡病院
- 八角病院

【小児救急入院受入病院】

- 県立中央病院
- 岩手医科大学附属病院
- 盛岡赤十字病院
- もりおかこども病院
- 川久保病院



～救急医療機関を受診する際のお願い～



できるだけ平日の診療時間内に受診しましょう

- ★ 救急医療は単なる時間外診療ではありません。あくまでも急病時のためのものです。安易に休日や夜間など時間外受診をするのはやめましょう。

症状が軽い場合は、初期救急医療機関を利用しましょう



- ★ 夜間の受診は、盛岡市夜間急患診療所を、日曜・祝日の日中は地域の休日当番医を受診しましょう。
初期救急医療機関を受診され、万が一入院や手術の必要が疑われる場合は、直ちに二次、三次救急医療機関と連携をとりますのでご安心下さい。

時間外診療を避けるために日頃から心がけましょう

- ★ 何でも相談できる地域の「かかりつけのお医者さん」を持ち、具合が悪いときは早め早めの受診を心がけましょう。
特に乳幼児の場合は、朝方は軽い症状でも、徐々に症状が重くなる場合もありますので、日中に受診しておけば安心です。



ルールや受診マナーを守りましょう

- ★ 医療機関でのルールや、受診マナーを守りましょう。
また、診察を終えたときは、お医者さんや看護師さんに感謝の気持ちを伝えましょう。

休日・夜間に具合が悪くなったら…

まずは症状を把握し、医療機関の受診が必要か判断しましょう。

休日・夜間の急病、特に子どもの突然の発熱などは、本人のみならず、ご家族もとても不安になります。

盛岡地域では、休日当番医などの救急医療体制を整えています。まずはどんな症状かを把握し、翌日の受診でも大丈夫な場合は、かかりつけのお医者さんを受診いただくなどのご配慮をお願いします。

なお、子どもの症状別の受診の参考目安については、盛岡市医師会ホームページなどで確認することができます。

盛岡市医師会ホームページ
「子どもの救急医療体制について」
<http://www.morioka-med.or.jp/>

盛岡市ホームページ「ウェブもりおか」
もりおか子育てネット
<http://www.city.morioka.iwate.jp/>





看護師による「こども救急電話相談」もあります。

病院を受診した方がよいのか迷った場合、近くに子どもの具合のことで相談できる方がいない場合には、看護師による「こども救急電話相談」を利用してはいかがでしょうか？

夜間におけるこどもの病気への対処や、応急処置などを相談することができます。



相談受付時間:毎日19:00~23:00まで

でんわ 019-605-9000
または、局番なしの#8000

※PHS・ダイヤル回線・IP電話からは、
019-605-9000
の番号をご利用下さい。



症状が軽い場合は、 休日当番医や夜間急患診療所を 受診して下さい。

①日曜・祝日の日中の場合 (9:00~17:00)

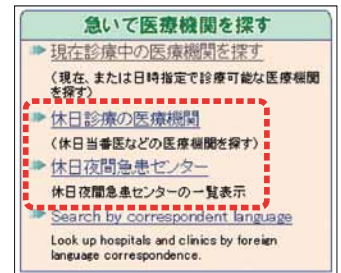
日曜・祝日の日中の場合は、地域の休日当番医を受診しましょう。

休日当番医の情報は、地域の医師会のホームページ、新聞や広報、岩手県のホームページ「**いわて医療情報ネットワーク**」などから確認することができます。



「いわて医療情報ネットワーク」

<http://www.med-info.pref.iwate.jp/>



②夜間の受診の場合 (19:00~23:00)

夜間の場合は、まず、盛岡市夜間急患診療所を受診して下さい。

盛岡市夜間急患診療所は、盛岡地域の診療所や病院の小児科医、内科医等が交代で子どもや大人の内科的急病に対応しています。

盛岡市医師会から

軽い症状の人が二次救急入院受入病院や小児救急入院受入病院、岩手県高度救命救急センターを多く訪れると、重症の人の診療に支障がでます。

症状が軽いと思われる人は、まずは盛岡市夜間急患診療所を受診しましょう。



盛岡市夜間急患診療所



盛岡市神明町3-29 (盛岡市保健所2階)

TEL 019-654-1080

年中無休：午後7時から午後11時まで

診療科：小児科、内科

※盛岡市以外にお住まいの方も利用できます。



症状が重い場合は、二次救急医療機関を受診しましょう。

休日当番医や盛岡市夜間急患診療所が対応できない病気やケガと、診療していない時間帯の受診や救急車は、二次救急病院が診療を受け入れます。

二次救急病院の受け入れなどについては、盛岡市医師会のホームページ、新聞や広報などから確認のうえ、受診の際には、各病院へ直接お問い合わせ下さい。



二次救急入院受入病院

病院名	電話番号
○岩手医科大学附属病院	019-651-5111
○岩手県立中央病院	019-653-1151
○盛岡赤十字病院	019-637-3111
○盛岡市立病院	019-635-0101
○遠山病院	019-651-2111
○栃内病院	019-623-1316
○高松病院	019-624-2250
○盛岡繋温泉病院	019-689-2101
○盛岡友愛病院	019-638-2222
○川久保病院	019-635-1305
○国立病院機構盛岡病院	019-647-2195
○八角病院	019-682-0201

小児救急入院受入病院

病院名	電話番号
○岩手医科大学附属病院	019-651-5111
○岩手県立中央病院	019-653-1151
○盛岡赤十字病院	019-637-3111
○もりおかこども病院	019-662-5656
○川久保病院	019-635-1305

受診の際は前もって電話でご確認下さい。

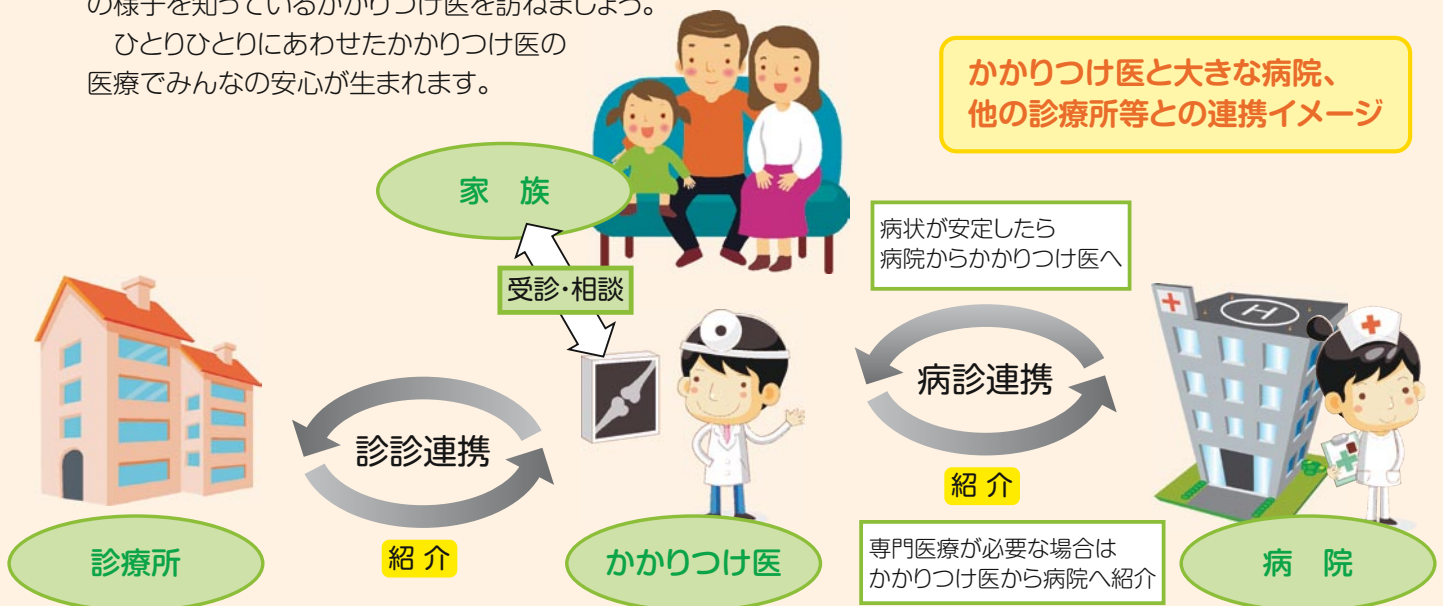
～かかりつけのお医者さんをもちましょう～

平日の急病などの際には、まずかかりつけの医療機関を受診しましょう。

盛岡地域には、医科診療所だけで約400もの医院が開業しており、身近なかかりつけ医をもつには恵まれている地域と言えます。

ご自身や家族の健康のためにも、身近に信頼できるかかりつけ医を持ち、「病気かな?」と思ったら、まずは普段の様子を知っているかかりつけ医を訪ねましょう。

ひとりひとりにあわせたかかりつけ医の医療でみんなの安心が生まれます。



お問合せ

岩手県県央保健所 医療介護課

☎019-629-6566